

平成22年度 民間住宅ローン利用者の実態調査 【フラット35利用者編】（第3回）

調査の概要

1. 調査方法

インターネット調査

インターネット調査会社のモニター120万件に対して調査対象の要件確認を行い、これに応じた643千件のうち平成22年11月から平成23年2月の間に民間住宅ローンを借入された方1,289件に、インターネットによるアンケート調査(2/16~2/28)を実施し、各月毎に先着順に回答があった民間住宅ローン利用者923件を調査対象とし、そのうちフラット35利用者146件について集計を行った。

2. 調査対象

民間住宅ローン利用者 (n= 923)
うちフラット35利用者 n= 146
うちフラット35以外 n= 777

- ・平成22年11月から平成23年2月までに民間住宅ローンを借り入れされた方
- ・居住用の新規の民間住宅ローン(借換え・リフォーム・土地のみの融資・アパートや投資用のローンは除き、フラット35は含む。)
- ・全国の20歳以上60歳未満までの方(学生、無職は除く。)

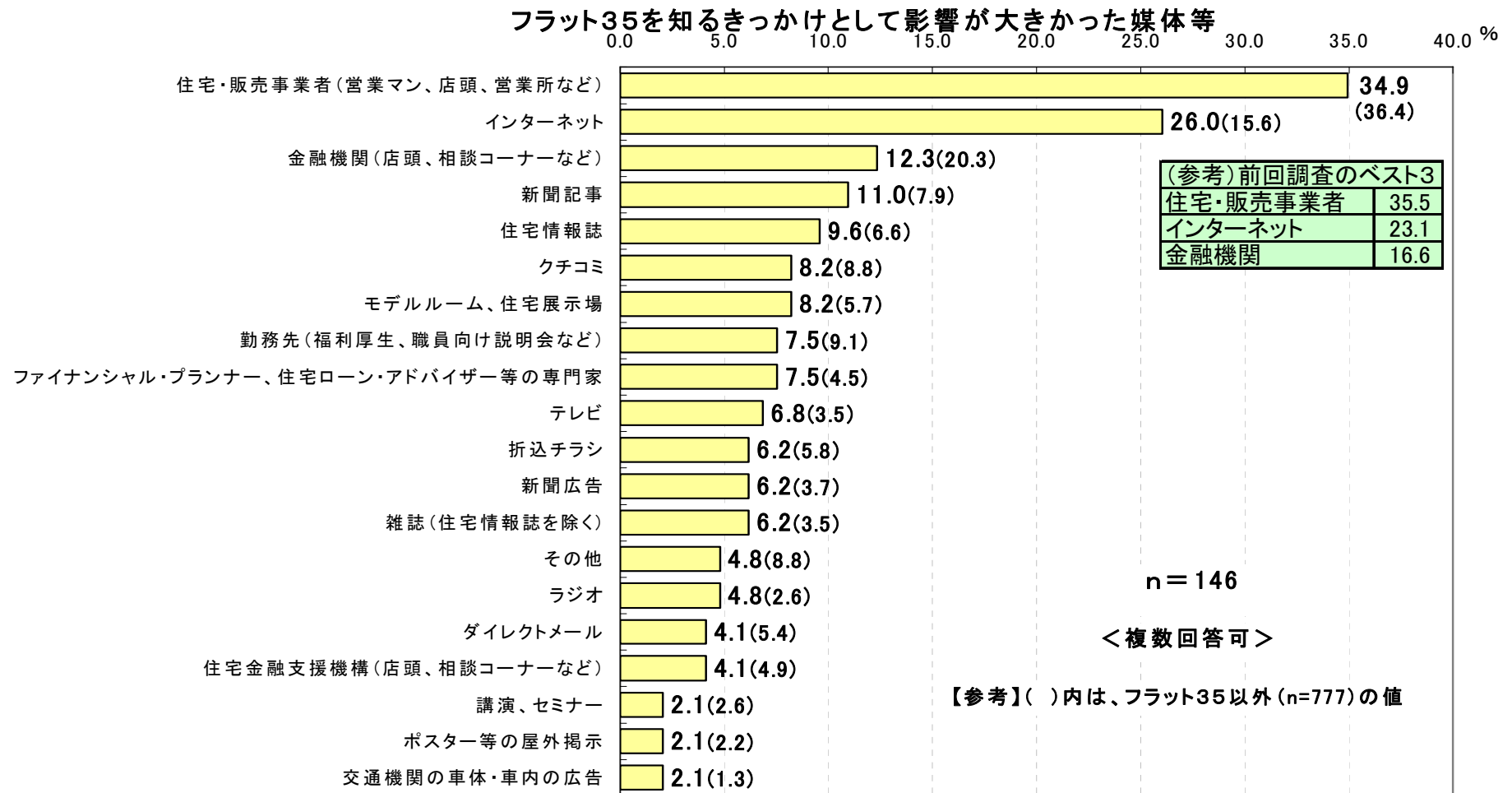
3. 調査時期 平成23年2月16日~2月28日

4. 調査項目 フラット35利用者の住宅ローン選びに関する事項等

平成23年3月30日
独立行政法人 住宅金融支援機構 住宅総合調査室

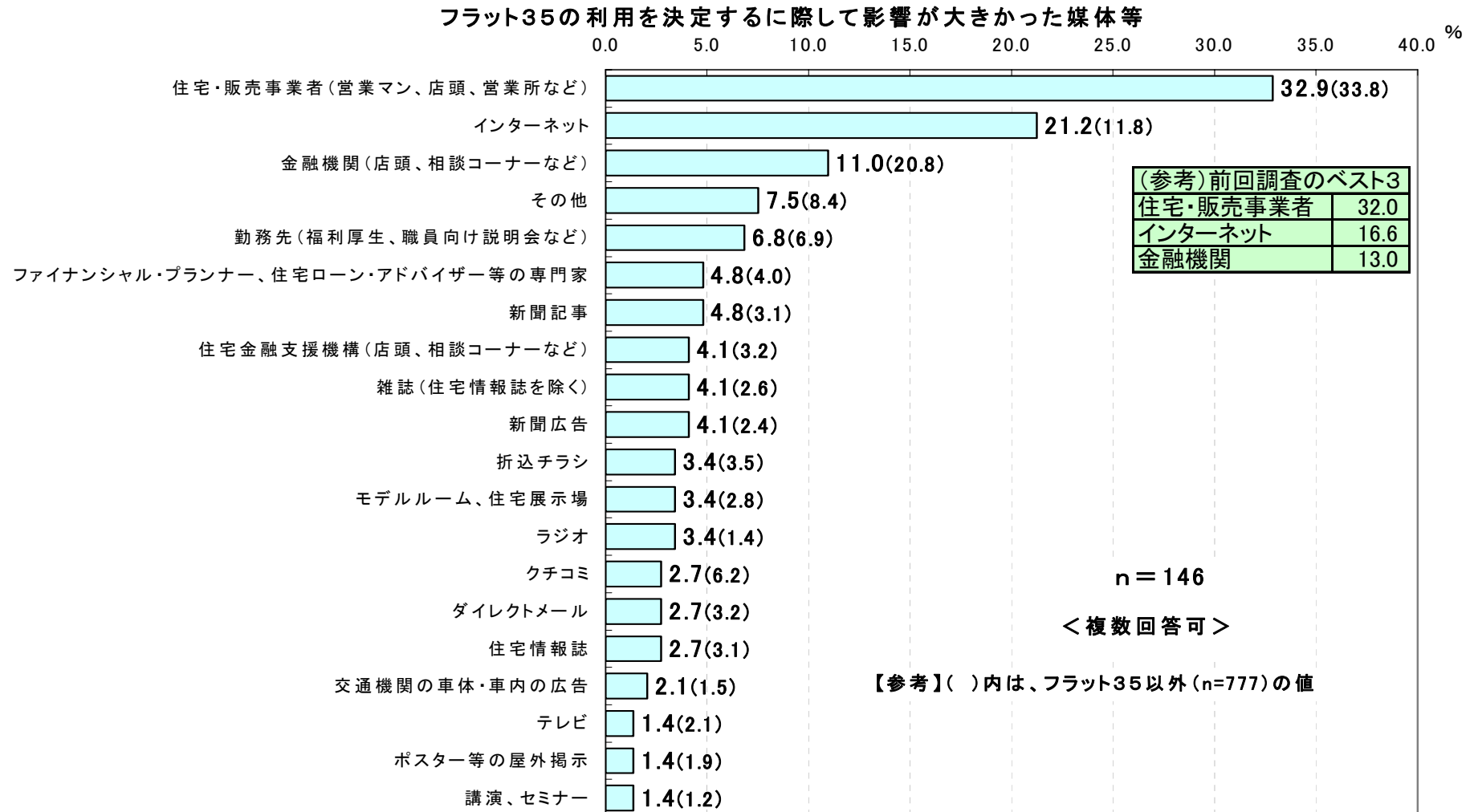
1. フラット35を知るきっかけとして影響が大きかった媒体等

- フラット35を知るきっかけは、「住宅・販売事業者」「インターネット」「金融機関」がベスト3を占める状況が続いている。
- フラット35以外の住宅ローンを利用された方と比較すると、「インターネット」に加え「新聞記事」「住宅情報誌」「テレビ」「雑誌」等のメディアの影響が引き続き大きい点が特徴となっている。



2. フラット35の利用を決定するに際して影響が大きかった媒体等

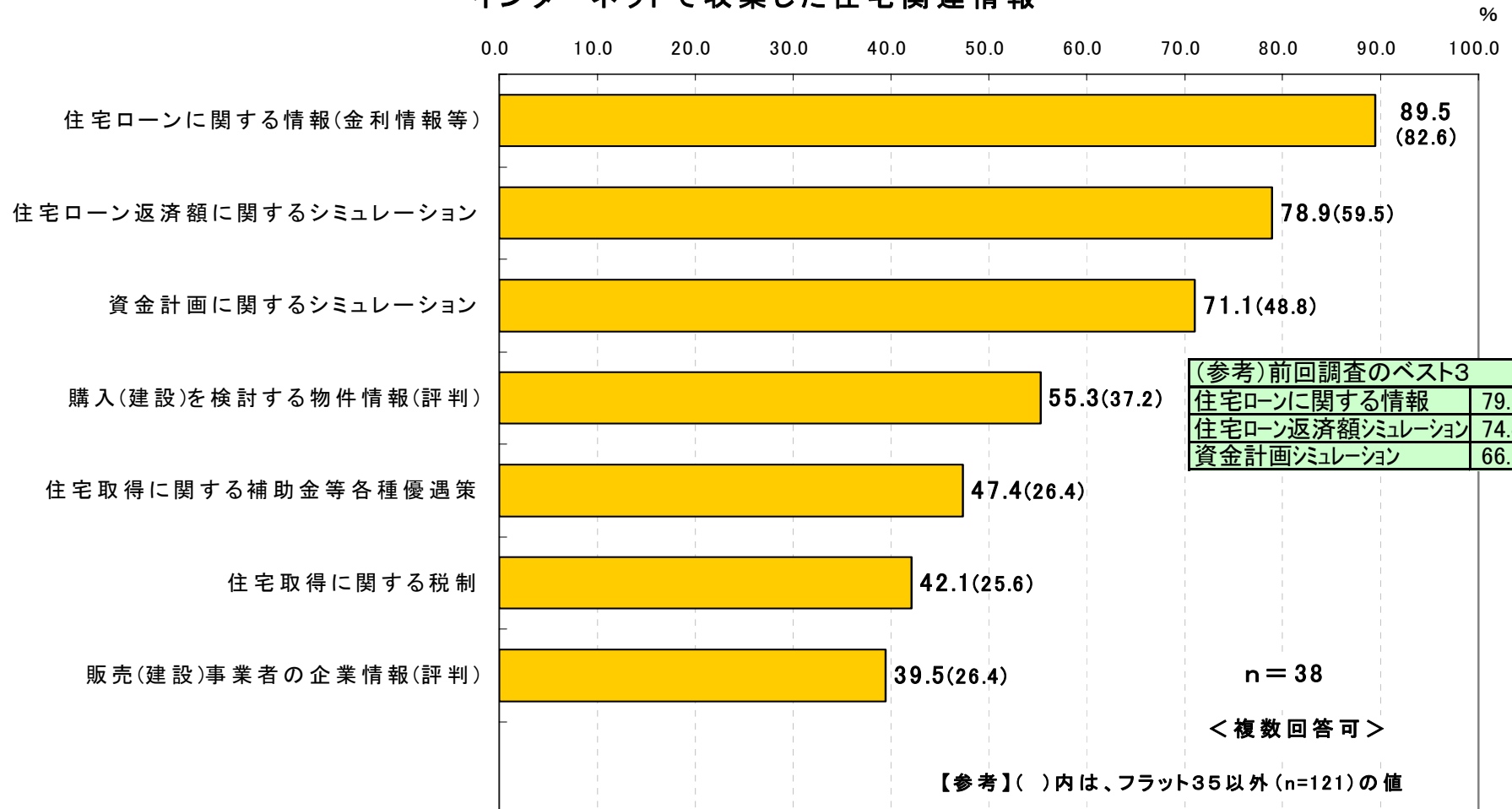
- フラット35の利用を決定するに際しても、「住宅・販売事業者」「インターネット」の影響が大きい状況が続いている。
- フラット35以外の住宅ローンを利用された方と比較すると、「インターネット」の影響が引き続き大きい点が特徴となっている。



3. インターネットで収集した住宅関連情報

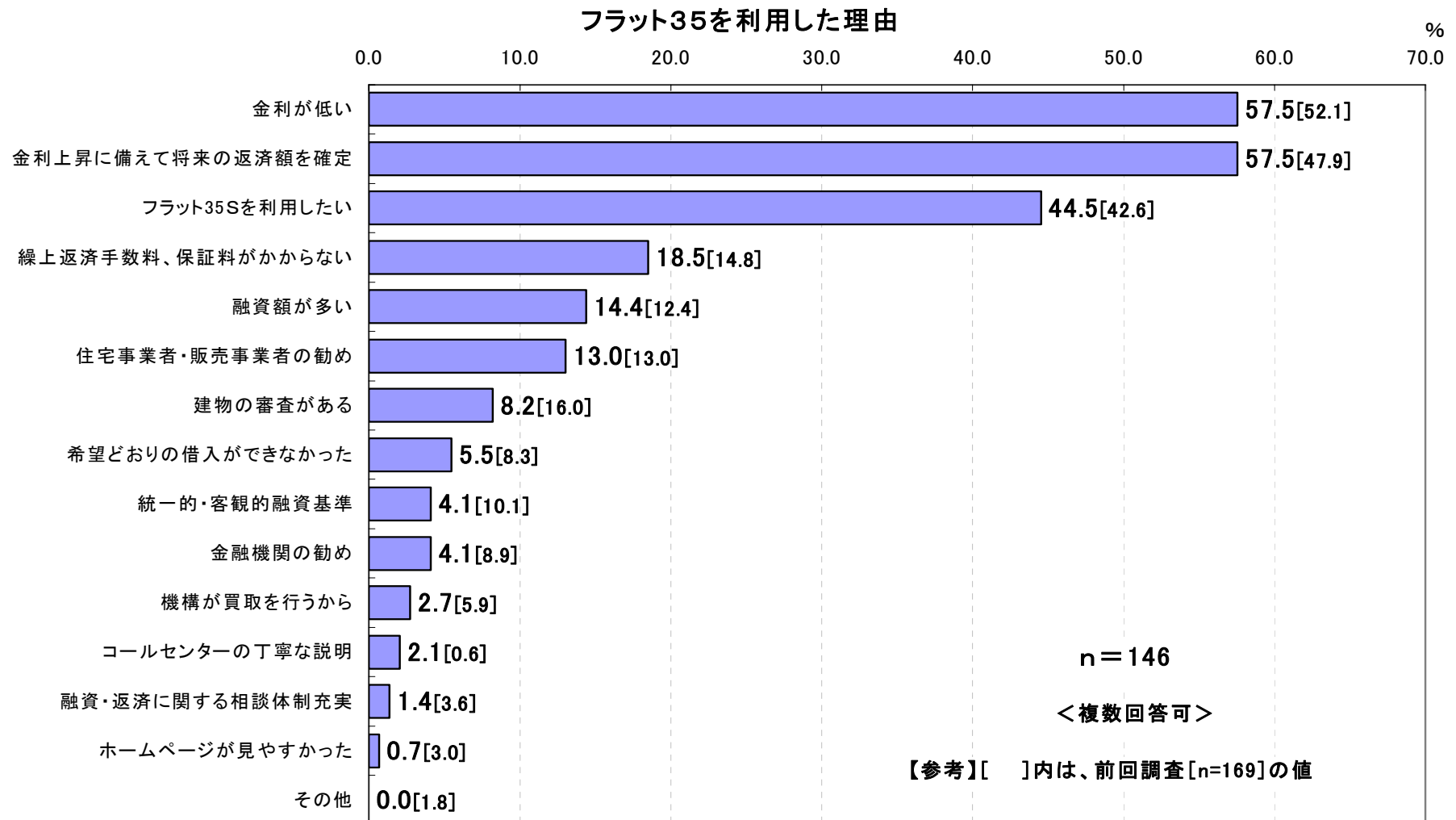
- 住宅ローンを知るきっかけが「インターネット」だった方に収集した情報を尋ねたところ、ベスト3は前回調査と同じ。
- インターネットを使って「住宅ローン返済額シミュレーション」「資金計画シミュレーション」「住宅取得に関する優遇策」「住宅取得に関する税制」等と幅広く情報を収集された方がフラット35を利用されている傾向はこれまでと同様変わらない。

インターネットで収集した住宅関連情報



4. フラット35を利用した理由

- フラット35を利用した理由は、全期間固定型住宅ローンの特徴である「金利上昇に備えて将来の返済額を確定」が前回調査の47.9%から57.5%に増加し、「金利が低い」(57.5%)とともに最も多い。
- 次いで「フラット35Sを利用したい」が前回調査の42.6%から44.5%に増加し上位3位を占める傾向が続いている。

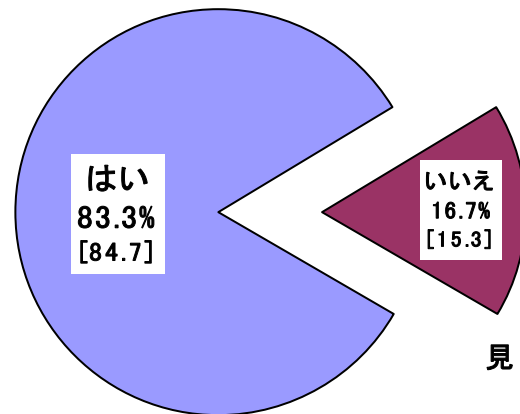


5. フラット35の認知状況（民間住宅ローン利用者全体）

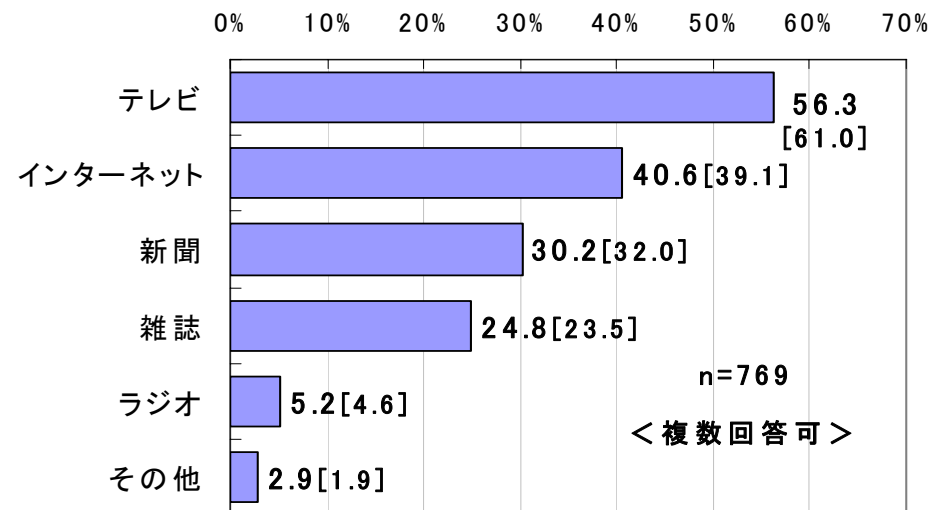
- フラット35の広告や情報を見聞きしたことがある方は、全体の83.3%とほぼ同様の認知状況が続いている。
- 見聞きされた広告や情報の媒体は、前回調査と同様に「テレビ」が56.3%と最も多く、次いで「インターネット」が40.6%、「新聞」30.2%、「雑誌」24.8%と続く傾向は変わらない。

フラット35の広告や情報を見聞きされたことがありますか（n=923）

【参考】[]内は、前回調査[n=885]の値



見聞きされたフラット35の広告や情報の媒体は何ですか。

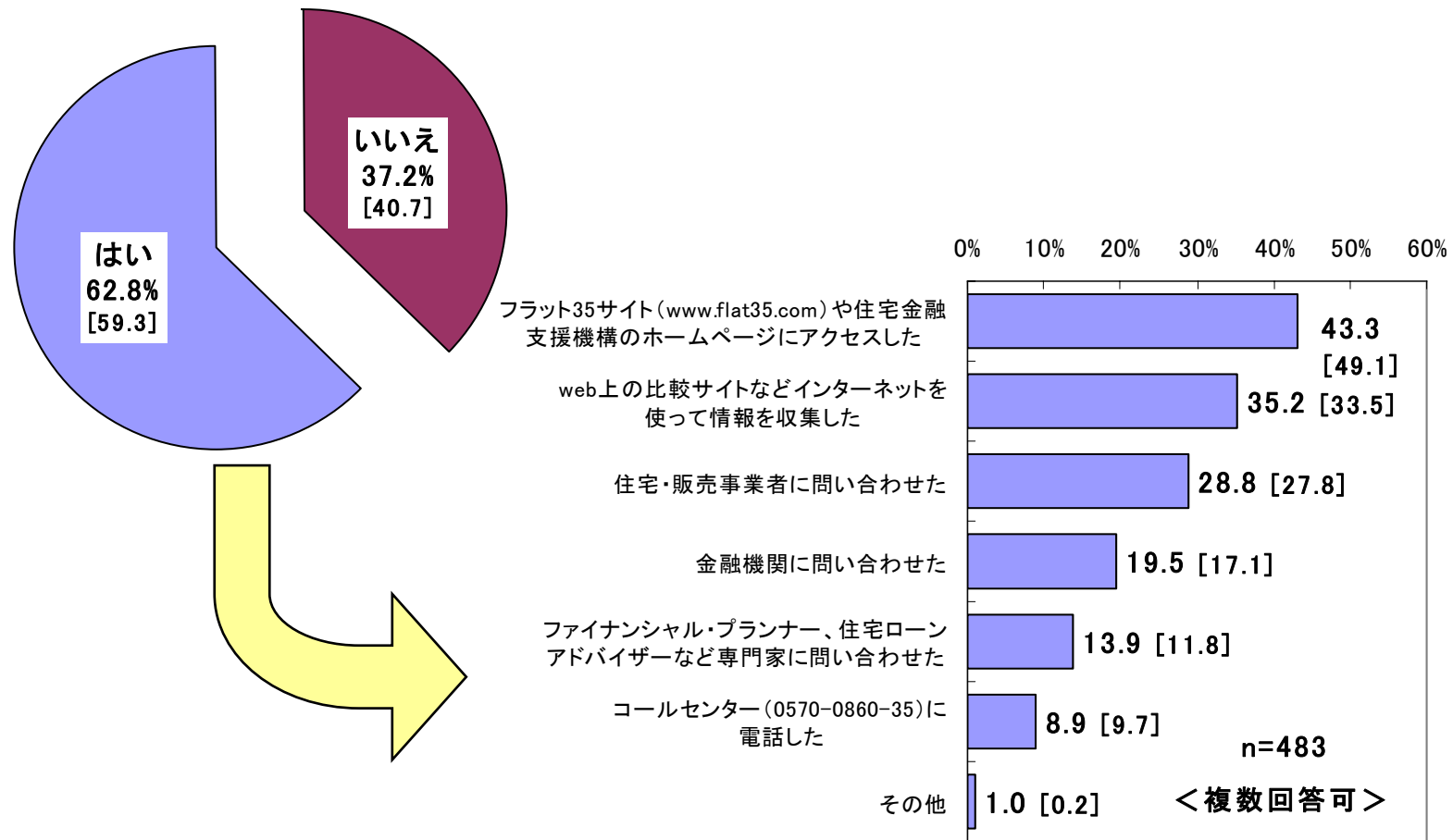


【参考】[]内は、前回調査[n=885]の値

6. フラット35の広告認知後の行動（広告を見聞きされた方）

- フラット35の広告を見聞きされた後、さらに詳しい情報を得ようと行動された方は、62.8%と前回調査よりも増加。
- さらに詳しい情報を得ようとした場合で多いのは「フラット35サイトへのアクセス」が43.3%、次いで「インターネット比較サイト等での情報収集」が35.2%、「住宅・販売事業者にお問い合わせ」が28.8%と続く傾向は変わらない。

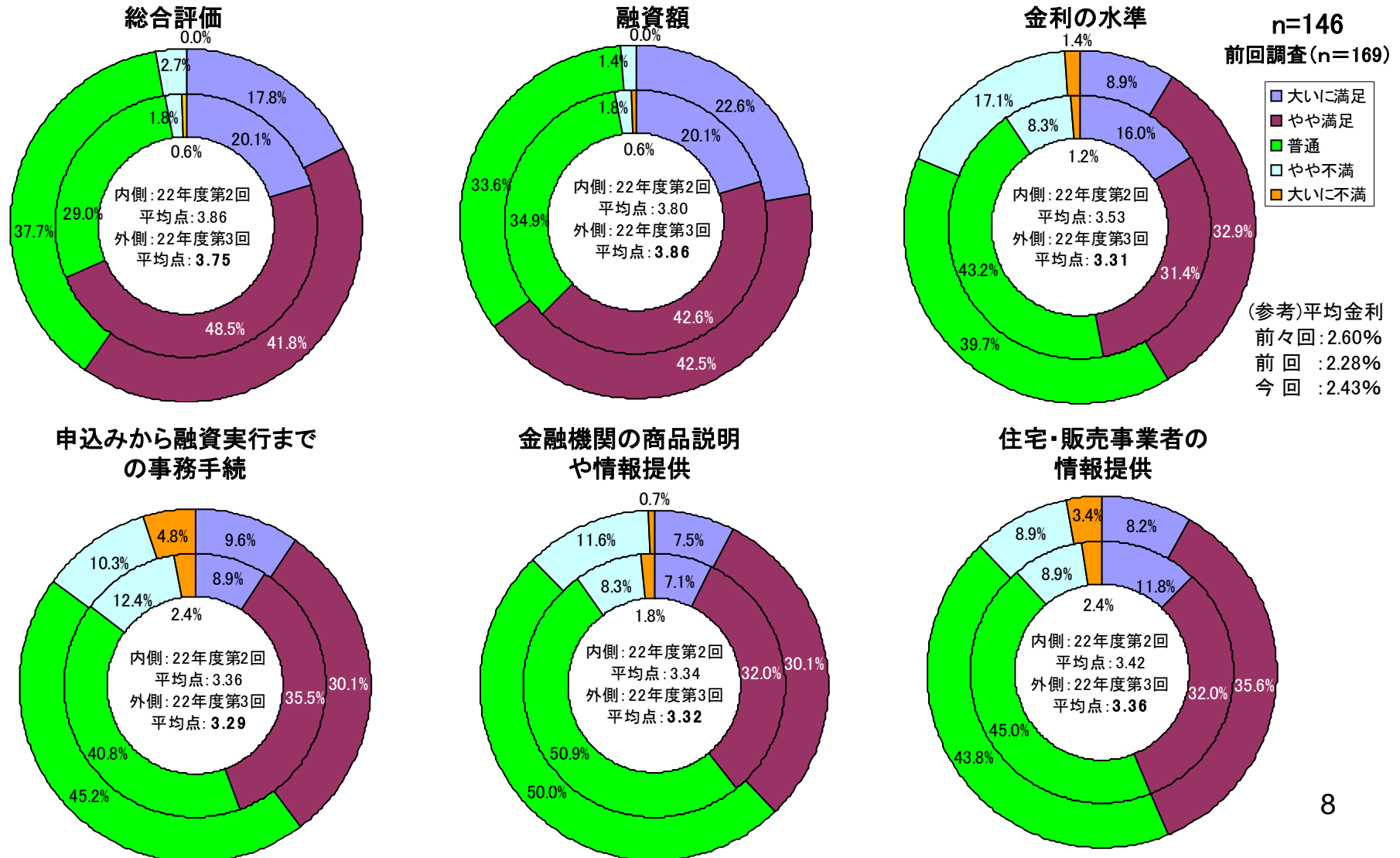
フラット35の広告を見聞きされた後、さらに詳しい情報を得ようと思われましたか(n=769)【参考】[]内は、前回調査[n=885]の値



7. フラット35に対する満足度

○フラット35に対する総合評価は、「大いに満足」+「やや満足」が59.6%と過半のお客様は満足されているが、平均点では3.75と前回調査の3.86よりも満足度はやや低下している。

※図中の「平均点」は、5段階評価について「大いに満足」5点、「やや満足」4点、「普通」3点、「やや不満」2点、「大いに不満」1点として算出した得点



【参考】 回答者の基本属性
【フラット35利用者】 n=146

項目		サンプル数	構成比(%)
年齢	20歳代	20	13.7
	30歳代	78	53.4
	40歳代	39	26.7
	50歳代	9	6.2
世帯年収	400万円以下	22	15.1
	400万円超～600万円以下	45	30.8
	600万円超～800万円以下	27	18.5
	800万円超～1000万円以下	30	20.5
	1000万円超～1500万円以下	16	11.0
	1500万円超	6	4.1
地域	首都圏	62	42.5
	東海圏	9	6.2
	近畿圏	21	14.4
	その他	54	37.0
住宅の種類	注文新築	76	52.1
	(うち敷地同時取得)	27	35.5
	注文建替え	8	5.5
	新築建売	14	9.6
	新築マンション	29	19.9
	中古戸建	4	2.7
	中古マンション	15	10.3
返済負担率	10%以下	20	13.7
	10%超～15%以下	32	21.9
	15%超～20%以下	49	33.6
	20%超～25%以下	30	20.5
	25%超～30%以下	13	8.9
	30%超～35%以下	2	1.4
	35%超～40%以下	0	0.0
	40%超	0	0.0

注： 首都圏：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
 東海圏：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
 近畿圏：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
 その他：首都圏、東海圏、近畿圏以外